

お申込みとご利用方法について

1 お申込み	Shadow Desktopをお取り扱いの販売パートナー様へご相談ください。 30日間の無償評価版は当社Webサイトからお申込みいただけます。
2 マネージャーへログイン	お申込み処理が完了するとShadow Desktop ManagerのURL、認証用のID/パスワードをメールでお知らせします。Webブラウザを利用して、インターネット上の管理サーバーへ接続してください。
3 ストレージ/ユーザー設定	ストレージの接続情報を入力してください。(クラウド付は不要) 利用するユーザーを登録してください。(Active Directory連携時は不要)
4 インストーラーをダウンロード	Shadow Desktop Managerからお客専用カスタムインストーラーをダウンロードしてください。
5 クライアントをインストール	利用する各PCへShadow Desktop Clientをインストールしてください。 インストール完了後、再起動が必要となります。
6 アクティベーション	PC再起動後、アクティベーションしてください。(Active Directory連携時は不要) アクティベーションが完了すると、データの仮想化が自動的に始まります。

価格 Shadow Desktop ライセンス

商品名称	提供形態	型番	定価(税込)	提供形態	型番	定価(税込)
Shadow Desktop Standard	Standard 1年ライセンス	SDSDTS1Y	¥ 12,540	Standard 5年ライセンス	SDSDTS5Y	¥ 56,430
Shadow Desktop Standard クラウド付		SDSDTSC1Y	¥ 25,300		SDSDTSC5Y	¥ 113,850
Shadow Desktop My Location Option		SDTSM1Y	¥ 3,850		SDTSM5Y	¥ 17,325
Shadow Desktop Backup Option		SDTSBU1Y	¥ 3,850		SDTSBU5Y	¥ 17,325
Shadow Desktop Wipe Option		SDTSWP1Y	¥ 3,850		SDTSWP5Y	¥ 17,325
Shadow Desktop Premium	Premium 1年ライセンス	SDPRTS1Y	¥ 18,040	Premium 5年ライセンス	SDPRTS5Y	¥ 83,930
Shadow Desktop Premium クラウド付		SDPRTSC1Y	¥ 30,800		SDPRTSC5Y	¥ 141,350
Shadow Desktop クラウドストレージ追加100GB	1年ライセンス	SDTS100GB1Y	¥ 12,760	5年ライセンス	SDTS100GB5Y	¥ 57,420

※ Premiumプランには My Location Option、Backup Option、Wipe Optionが含まれます。

動作要件

オペレーティングシステム (32ビット/64ビット、日本語版のみ)	•Windows 8.1 各エディション •Windows 10 Fall Creators Update(Version 1709) 各エディション(LTSB、LTSC を除く)以降 ※ EFS対応するPro以上のエディション
CPU	Intel、AMD または互換プロセッサ (推奨 4コア 1.8GHz以上)
メモリ	4GB以上のRAM (推奨 8GBのRAM、1GB以上の空きメモリ) ※ お使いのOSやソフトウェアによって必要なメモリは異なります
ハードディスクの空き容量	Cドライブに30GB以上の空き容量 (推奨 50GB以上の空き容量) ※ 10GBを超えるような大きなファイルがある場合は、その倍以上の空き容量が必要です
通信ポート	HTTPS (TCP / 443)
その他	.NET Framework 4.7.2 以上がインストールされていること インターネット接続環境 (推奨 光回線または4G LTE) ※ Shadow Desktop Manager に接続できること、かつ利用するストレージに接続できること
制限事項	デスクトップ、ドキュメント、ピクチャー、ダウンロードが標準の場所である必要があります ストアアプリ版 Outlook には対応していません

利用可能なストレージ

Microsoft Azure BLOB
Amazon S3 (Amazon Simple Storage Service)
IBM Cloud
Cloudian HyperStore
その他、S3 API完全準拠ストレージ

※ 利用可能ストレージは順次拡大しております。当社 Web サイトで最新情報をご確認ください。

※ ご契約されているストレージを、シェアして利用します。例えば、1つの企業で、500GBのストレージを5名でご契約頂いた場合、5名で500GBまで利用できます。1人100GBという訳ではなく、全体で500GBとなります。

※ Shadow Desktop はアップデータの登録商標です。 ※ その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。 ※ 掲載している画面はすべて開発中のものです。 ※ 表示価格はすべて税抜き価格です。 ※ 動作要件は予告なく変更される場合がございます。

仮想デスクトップ × 利便性 =



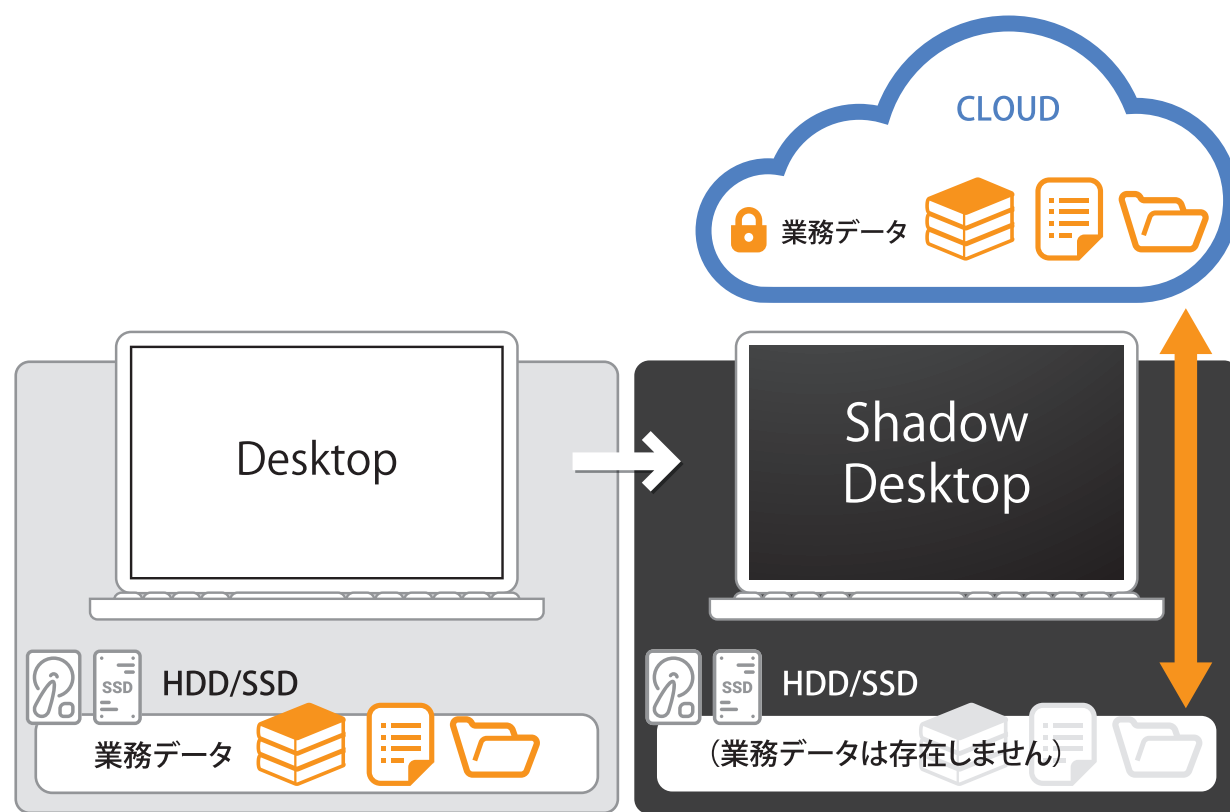
製品カタログ



Shadow Desktop とは

Point. データだけをクラウドへ仮想化

Shadow Desktopは、PC内のデータをクラウドへ仮想化する製品です。クラウドを意識せず、PCにデータがあるかのように使えるのが特徴です。仮想化対象は、デスクトップ、ドキュメント、ピクチャー、ダウンロードフォルダーで、設定は全て管理者が行いPC側にはソフトウェアをインストールするだけで準備完了です。



Point. 企業にもユーザーにも負担のない新しいカタチ

- ✓ ご利用中のPCをそのままデータレスな状態に
- ✓ サーバーレスで構築・運用ができる
- ✓ 新幹線や飛行機内(オフライン時)でもPCが使える
- ✓ 導入前後の操作が変わらずユーザー教育不要
- ✓ 低コストなのでどんな企業でも導入できる

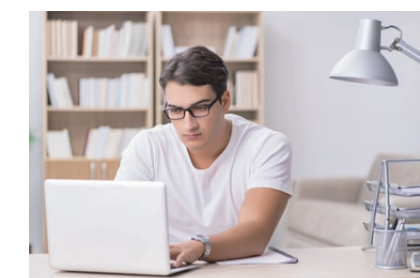
持ち出しPCのセキュリティ対策

Shadow Desktop では、データを仮想化しているので、読み取ることはできません。PCを紛失したり盗難にあった場合でも、情報を漏洩するリスクを大幅に低減できます。万一PC紛失などのインシデントが発生した場合は、管理画面から該当PCの利用を停止すれば、クラウド上にあるデータへのアクセスを遮断できます。



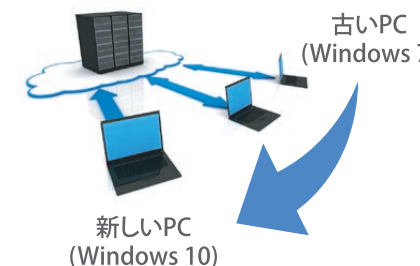
働き方改革

マイロケーションオプションを利用すれば、自宅のPCや持ち出し用の2台目PCで、オフィス内と同じ作業をすることができます。自然災害やパンデミックにより出社できない場合に極めて有効で、在宅勤務者に対してもクライアントソフトをインストールさせるだけで、セキュアな社内環境が再現できます。また、仮想デスクトップでありながらオフライン時にも作業ができるので、新幹線や飛行機内の移動時間を有効活用でき、セキュリティと利便性の両立を実現しています。



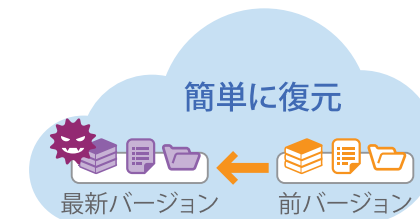
PCのデータ移行が不要に

Shadow Desktop をインストールした PC は、手元にデータがあるように見えていながらも、データそのものはクラウドに格納されているため、端末入れ替え時のデータ移行という概念が無くなります。新しい PC に Shadow Desktop のクライアントソフトをインストールしてログインすれば、ファイルやフォルダーが古い PC と同じ状態で表示され、すぐさま業務を開始することができます。



マルウェア/ランサムウェア対策

Shadow Desktop はバージョン履歴機能が標準装備されているので、万が一マルウェアに感染しても、簡単に感染前のファイルに戻すことができます。また、データそのものをローカル PC に戻すわけではなくクラウド上で処理されるので、復旧までの時間が大幅に短縮されます。



これまで仮想デスクトップを見送ってきた方へ

一般的な仮想デスクトップサービスは、サーバー上に複数の仮想 PC を作り、端末側では直接システム処理を行わず、その処理結果を画面表示させます。高いセキュリティレベルを確保できる一方、移動中など通信が不安定な環境下ではユーザーがストレスを感じるほか、ハイパフォーマンスなサーバー導入やコア数に応じたライセンス購入、通信回線の増強など、導入コストが高額になるケースが多く、あらゆる企業が導入できるわけではありません。Shadow Desktop は初期費用がかからず、低コストで VDI と同等のセキュリティを確保できるため、今までコスト面など様々なハードルによって導入を見送ってきた企業に最適なソリューションです。



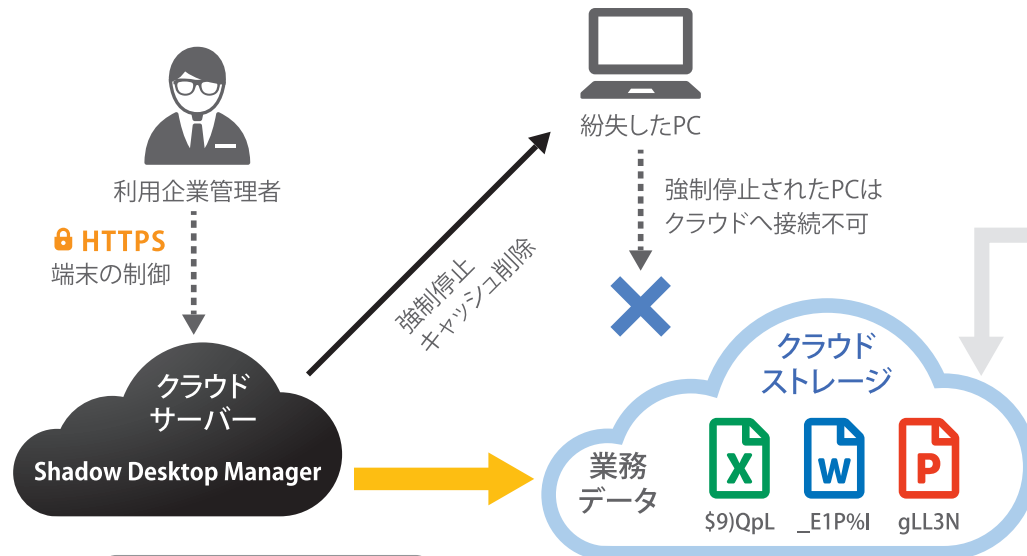
Shadow Desktop の仕組み

Point. ヒミツは仮想ドライブ

通常はHDD/SSDのデータを表示
・PC紛失時に情報漏洩する可能性あり



Shadow Desktopをインストール



PCの操作方法が変わらない

Shadow Desktop をインストールしても見た目や使用感は変わりません。シングルサインオンなので、Shadow Desktop Client の起動操作も必要ありません。

クラウド上のユーザーデータ

Shadow Desktop Client をインストールすると、PC 内のデータが自動的にクラウドへアップロードされ、ローカルストレージから削除されます。

クラウドに格納されるデータは暗号化されるので、他者から閲覧されたり、コンピュータウイルスに感染する心配はありません。

クラウド上のデータは独自技術でバージョン管理されており、破損したデータなどをクラウドから復元することも可能です。

クリックでダウンロード、更新されたらアップロード

ユーザーがファイルをクリックすると、クラウドから該当データをダウンロードし、ファイルを編集し書き保存をすると、更新されたデータが即座にクラウドへアップロードされます。

また、自動的にアップロードされるサイズの上限を設定したり、アップロードを一時停止することも可能で、モバイル WiFi の通信制限を意識した使い方をすることができます。

キャッシュデータと安全性

ファイルクリックなどでクラウドからダウンロードしたデータは、ローカルストレージ内の専用領域にキャッシュされます。

キャッシュデータは Encrypted File System (EFS：暗号ファイルシステム) で暗号化されており、ファイル名も全く異なるため、仮に HDD/SSD を取り出して別のコンピュータに接続しても、意味のあるファイルとして読み出すことはできません。

オフライン時にPCが使える理由

使用するファイルは自動的にクラウドストレージからダウンロードされキャッシュします。データの読み書きはこのキャッシュに対して行うため、新幹線や飛行機内などインターネット接続が困難な環境でも作業継続が可能です。PC のシャットダウン時にキャッシュは削除されますが、クラウドストレージにアップロードされていないデータは削除されず保持されます。

「ない」ものが「ある」ように見える仮想ドライブ

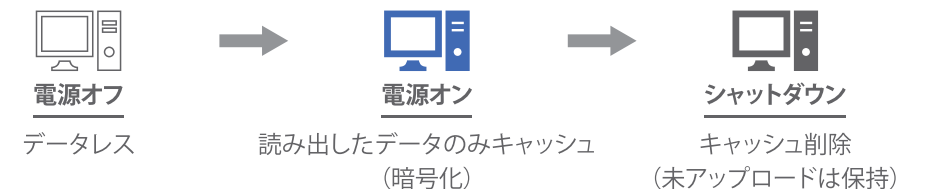
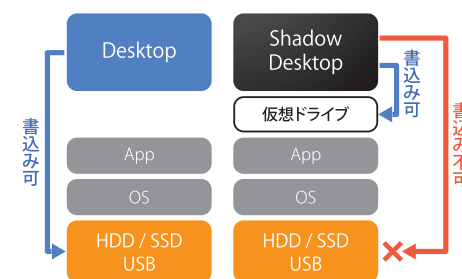
ローカルストレージに存在していないファイルが、あたかも手元にあるように見えたり使えたりする理由が、この仮想ドライブにあります。

仮想化されずローカルストレージに残っているショートカットや空のフォルダー、除外設定された拡張子 (.exe など) と、仮想化されて手元にないファイルがこの仮想ドライブでマージされ、同一レイヤーに存在しているかのような使用感を実現しています。

データの持ち出しをブロックするライトコントロール

ライトコントロールの機能を有効にすると仮想対象ディレクトリ以外へのデータの書き込みを制御し、USB メモリや C ドライブ直下などへのデータの保存を禁止する事ができます。

ただし、OS やアプリケーションのアップデートは阻害しません。



Options

ワイプオプション

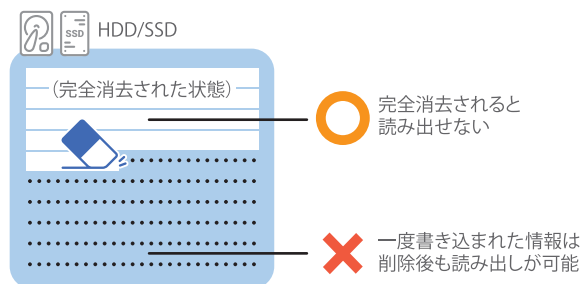
Shadow Desktop Wipe Option

HDD や SSD などの不揮発ストレージに保存されたデータは、ファイルを削除しても、実はストレージ上に残り続けます。その為、データ復旧ソフトなどを利用すると簡単にデータを復元する事が可能です。

PC を紛失した際も、Windows などへログインできなくても、HDD や SSD を取り外してデータ復旧ソフトで読み取る事が可能です。

Shadow Desktop では、データを暗号化してキャッシュするので、読み取られる心配はございません。しかし、万が一を考慮して、ストレージを完全消去したい場合は、ワイプオプションをご利用下さい。

ブラウザのキャッシュや OS などの HDD/SSD のデータを完全消去するので、万が一 PC を紛失した際や、PC を廃棄する際も、読み取られる心配がなくなります。



ワイプオプション発動条件

- Windows へのサインインに規定回数失敗した場合
- オフラインの状態が規定日数続いた場合
- 管理システム (SDM) から、ワイプの実行が指示された場合

マイロケーション

Shadow Desktop My Location Option

どこでも どのPCでも セキュアに 同じデスクトップ

マイロケーションオプションを有効にすると、普段オフィスで使っている PC とは違う PC 上で、いつもと同じ作業環境を再現することができます。

例えば、自宅の PC で Shadow Desktop を立ち上げた場合、デスクトップが仕事用の PC に切り替わり、作業ができる一方、プライベートな写真やデータは一切アップロードされません。また、デスクトップ PC とノート PC の 2 台持ちユーザーにも最適で、どちらか一方の PC で行ったファイルの作成や編集が常に同期された状態になります。

場所や端末を選ばず仕事をすることができるので、パンデミック対策や、自由な働き方の実現に、新たな価値を生み出します。



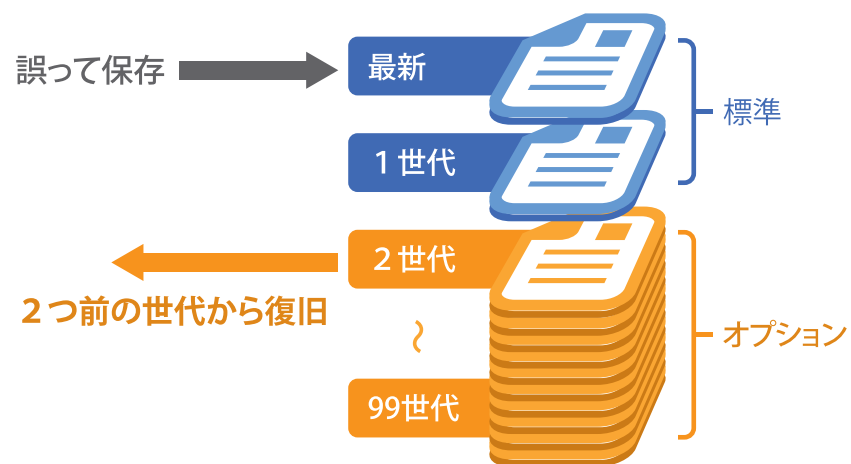
バックアップ

Shadow Desktop Backup Option

Shadow Desktop はバージョン履歴機能を標準装備しているので、誤って上書きしたり、データクラッシュや万が一のマルウェアに感染しても、全てのファイルを正しいバージョンに戻すことができます。

ただし、ゴミ箱を空にした場合は、クラウド上からも削除してしまうため、バックアップ用途として万全とは言えません。

バックアップオプションを有効にすると、最大 99 世代までファイルの世代管理ができるほか、誤って削除してしまってもクラウドから復旧させることが可能になります。



Shadow Desktop Manager

Shadow Desktopの契約者に無償提供される管理画面です。

ユーザーやグループの作成、端末やログの管理、アップロードやストレージの制限など、管理者が一括管理できるよう様々な機能が提供されています。システムはクラウド上に存在し、接続にはWebブラウザを利用します。

Shadow Desktop Manager

ユーザー管理

グループ管理

システム設定

ログイン名	氏名	所属グループ	最終利用日時	種別	上限領域	使用サイズ	操作
a_yamada_jiro	山田次郎	総務部	2018/08/21 17:13	Desktop ML WC	52 GB	1.7 GB	利用停止
a_yamada_taro	山田太郎	総務部	2018/06/14 17:42	Desktop	11 GB	15.6 MB	利用停止
eigy_jiro	営業次郎	営業部	2018/12/15 14:25	Desktop ML WC	51 GB	28.7 MB	利用停止
eigy_taro	営業太郎	営業部	2018/04/20 16:55	Desktop	54 GB	3.9 GB	利用停止
gyomu_taro	業務太郎	研究開発部	2018/09/25 13:57	Desktop ML WC	51 GB	120.2 MB	利用停止

ユーザー/グループ管理

ユーザーを追加・削除することが可能で、CSV をアップロードしてユーザーを一括作成することもできる他、最終利用日や上限領域などを設定できます。

また、部署や部門にあわせて、グループの管理が可能で、任意にグループを作成できるほか、グループの配下にグループを作成することもできます。

Active Directory 連携

Shadow Desktop Client を起動した Active Directory ユーザー情報が、Shadow Desktop Manager に連携して動作します。

お客様環境の Active Directory と連携すれば、ユーザーやグループの作成が不要になります。

システム設定

容量制限のバージョン履歴、クライアント認証方式を設定できます。

お客様がご自身で用意されたクラウドストレージとの接続設定も、こちらから行います。

利用停止

PC の盗難や紛失があった際に、クラウド上にあるデータへのアクセスを遮断することができます。

ユーザー単位の停止だけでなく、端末単位の停止も可能なので、情報漏洩を阻止しながら作業継続することができます。

コンピュータの管理

Shadow Desktop を利用している PC が管理できます。

利用者や利用状況の他、PC の OS やバージョンを確認できます。

マイページ

ご契約内容の確認、インストーラーやマニュアル、ライセンス証書のダウンロードを行えます。

ログ管理

アップロードログ、サーバーログを管理できます。

その他の主な機能

キャッシュ

PC のシャットダウン時に、PC のローカスストレージに保存されたキャッシュは削除します。しかし、キャッシュにはいくつかの設定が可能です。

- **未アップロードファイル保持**
編集されクラウドにはアップロードされていないファイルを保持します。
- **全削除**
編集されクラウドにはアップロードされていないファイルも PC シャットダウン時に削除します。
PC 上のキャッシュは暗号化されていて十分に安全ですが、万が一を期す場合に有効です。
- **指定容量保持**
指定された容量のファイルを、PC シャットダウン時も保持します。
完全にオフラインの状態でも、PC に残されたキャッシュでファイルの閲覧や編集が可能です。
通信量を大幅に削減できるのも魅力です。

シャットダウン時のファイル削除

ブラウザのキャッシュやアプリケーションのキャッシュ、場合によっては OS のキャッシュからも情報漏洩する可能性があります。

Shadow Desktop では、これらのファイルを指定しておけば、PC シャットダウン時に、情報漏洩を引き起こしそうなファイルを削除し、情報漏洩を予め防ぐことが可能です。

指定された期間利用がないPCのデータを削除

PC を紛失しても、連休中などすぐに管理者様へ連絡ができない場合があります。

Shadow Desktop では、指定された日数 PC がオンラインにならなければ、起動時に PC 内のキャッシュを自動的に削除できます。

これにより、PC 紛失時のコーポレートがバランスを、手作業でなくオートメーションで実行、間違いなく実行することが可能です。

アップデート制御

アプリケーションの更新を、一斉ではなく手動で実施することが可能です。OS の更新などによるトラブルを軽減することが可能です。